

平成24年度

学校法人昌賢学園

事業報告書

学校法人昌賢学園

群馬医療福祉大学大学院

群馬医療福祉大学

群馬医療福祉大学短期大学部

群馬社会福祉専門学校

群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校

群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園

I. 平成24年度法人の概要

1. 法人の名称 学校法人 昌賢学園
2. 事務所の所在地 群馬県前橋市元総社町 152番地
3. 設置する学校
 - ①群馬医療福祉大学大学院 社会福祉学研究科
 - ②群馬医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科
 - ③群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科
 - ④群馬医療福祉大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科
理学療法専攻 作業療法専攻
 - ⑤群馬医療福祉大学 短期大学部 介護福祉学科
 - ⑥群馬社会福祉専門学校 社会福祉専門課程
福祉保育学科 介護福祉専攻科
社会福祉士通信課程
 - ⑦群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校 医療福祉専門課程
理学療法学科 作業療法学科
 - ⑧群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園

4. 学生・園児等の数 (平成25年3月31日)

学部・学科名	入学定員	収容定員	学生・園児数
群馬医療福祉大学大学院 社会福祉学研究科	10名	20名	7名
群馬医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科社会福祉専攻	90名 (50名)	360名 (200名)	506名 (316名)
社会福祉学科こども専攻	(編入50名) (40名)	(100名) (160名)	(190名)
群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科	80名	1. 2. 3年 240名	1. 2. 3年 271名
群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 (平成24年4月オープン)	60名	60名 (1年)	66名 (1年)
リハビリテーション学科理学療法専攻	(35名)	(35名)	(40名)
リハビリテーション学科作業療法専攻	(25名)	(25名)	(26名)
群馬医療福祉大学短期大学部 介護福祉学科	80名	160名	112名
群馬社会福祉専門学校社会福祉専門課程 福祉保育学科	130名 (50名)	180名 (100名)	127名 (85名)
介護福祉専攻	(80名)	(80名)	(42名)
社会福祉通信課程	200名	400名	119名
群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校 (リハビリテーション学部へ組織替え)	80名	240名 (2・3・4年)	114名 (2・3・4年)
理学療法学科	(40名)	(120名)	(74名)
作業療法学科	(40名)	(120名)	(40名)
群馬社会福祉大学附属鈴蘭幼稚園	90名	280名	83名

5. 役員

理事 8人 監事 2人 評議員 19人

6. 教職員の状況 (平成25年3月31日)

部 門	人員数
大学院教員	5
兼任講師	6
大学教員 (社会福祉学部)	34名
兼任講師	32名
大学教員 (看護学部)	23名
兼任講師	26名
大学教員 (リハビリテーション学部)	8名
兼任講師	7名
短期大学部教員	11名
兼任講師	13名
専門学校教員	10名
兼任講師	20名
リハビリ専門学校教員	10名
兼任講師	18名
幼稚園教員	7名
事務職員	37名

7. 土地及び建物の状況

① 土地の状況 (単位:㎡)

	群馬医療福祉大学	短期大学部	群馬社会福祉専門学校	附属鈴蘭幼稚園	合 計
校 地	18,451.00	15,360.39	2,413.44	3,621.01	39,845.84
合 計	18,451.00	15,360.39	2,413.44	3,621.01	39,845.84

② 建物の状況 (単位:㎡)

	群馬社会福祉大学	短期大学部	群馬社会福祉専門学校	附属鈴蘭幼稚園	合 計
校 舎	10,964.93	4,943.00	2,282.42	1,890.12	20,080.47
合 計	10,964.93	4,943.00	2,282.42	1,890.12	20,080.47

③ 土地建物借用状況 (単位:㎡)

	法 人	群馬医療福祉大学	リハビリ専門学校	看護学部	合 計
校 地				26,222.00	26,222.00
校 舎			4,744.38	11,477.00	16,221.38
駐 車 場		4,699.28			4,699.28
合 計		4,699.28	4,744.38	37,699.00	47,142.66

Ⅱ. 事業報告

1. 企画部門報告

・まちなかキャンパス 前橋商工会議所連携事業 32 講座開催 述べ 623 名参加

群馬医療福祉大学は前橋商工会議所連携事業としてまちなかキャンパスを開催し、地域の方々を対象に、長年培ってきた教育と研究を土台に、地域のニーズに応えられる大学としてその役割を果たしたいと願っています。

少子高齢社会を迎え、地域の方々の「健康」への意識が高まり、予防医学や予防介護といった知識・技術が求められています。そのようなニーズに対応するため、本学の持っている知的財産を地域へ還元することを目的とし、地域の方々が気軽に参加できるような講座を開講しています。

・論語の学堂 7 講座開催 述べ 1 7 6 名参加

本事業は本学の歴史及び建学の精神に基づき、平成 24 年 3 月から開始した事業である。本学の淵源は宝徳元年(1949)に遠祖長尾昌賢が学問所を開設したのに始まり、世世漢学の教授を以て地域教育に貢献してきた。

古来、漢学と呼び習わされている学問の中心にあるのが四書・五経と総称される中国の古典であり、就中日本では古代より論語が重んじられてきた。そして本学は論語の「仁」を建学の精神とし、学生へ全人教育を行っている。福祉は特に人と人との関係構築が重視される分野であり、人間関係を築く上で最も大事なのが他者を己の如く感じる心、要するにそれが「仁」である。福祉と論語は決して無関係ではない。

この論語の精神、つまり「仁」を広く社会に還元するために、万を期して本年(平成 24 年)より公開講座として開始した。

特別講演会 ぐんま県民カレッジ連携講座

夢が人を成長させる ～逆境からの挑戦～

車椅子バスケットボールオリンピック日本代表 京谷和幸氏 289 名参加

社会では将来の夢や目標を見つけることが出来ない人たちが増えてきており、この現状を打開していくために、人間としての在り方や生き方を考える機会を推進する必要性が高まっています。それには自らが夢や希望をはぐくみ、それに向かって目標や計画を設定して、その実現に向けて粘り強く取り組むことが求められています。自分の生き方や社会参加のあり方等を見つめ、将来に向けた向上心を養うことなど意識啓発を目的として、車講演会を開催いたしました。

平成 24 年 11 月 17 日(土)

場所 群馬医療福祉大学 昌賢アリーナ

受講料 無料

時間 13:00～14:30



公開授業 7 月 21 日(土)実施 135 名参加 (前橋 53 名 看護 45 名 リハ 37 名)

学校法人昌賢学園(以下本学)で学んでいる学生たちは、それぞれの夢や目標に向かい、希望実現のために勉学に勤しんでおります。

そこで学生たちがどのような学習を行っているか実際の授業の参観と、さらには保護者の方に授業を体験していただき実体験を通じて本学の教育の実際をご理解いただく場とするとともに、本学の教育に対する希望などを拝聴する機会とし、本学の教育内容の充実・強化の一助にすることを目的として開催しました。

リハビリテーション研修会 平成 24 年 4 月 21 日(土)

場所 前橋さくらホテル

座長 美原 盤 先生 (美原記念病院 院長)

講演者 伊藤恵康 先生 (慶友整形外科病院 院長)

里宇明元 先生 (慶応義塾大学 リハビリテーション医学 教授)



4 月 21 日 (土) 17 時より、前橋さくらホテルにおいて、群馬医療福祉大学リハビリテーション学部研修会 (リハビリテーション学部開設記念研修会) が開催されました。

演者には、講演 1 において、医療法人慶友会 慶友整形外科病院 病院長の伊藤恵康先生、講演 2 において、慶応義塾大学医学部リハビリテーション医学教授ならびに日本リハビリテーション学会理事長の里宇明元先生をお招きいたしました。

高大連携事業 単位認定授業開講 8/6~8/8 12/24~12/25 6名参加

群馬医療福祉大学は、「地域に開かれた大学」を目指しており、その取り組みの一つとして地域の高等学校のとの連携を進めております。

高校時代に本学が実施する高大連携授業科目を履修することにより、社会福祉に関する内容を理解することができ、進路の選択に役立つこと、及び高校生活の充実、学習意欲の一層の向上に寄与することを目的としております。

なお、この高大連携授業により習得した単位は、本学に入学した場合は本学で修得した単位として認定することとしております。



・介護体験教室【車椅子編】 10月19日(土) 9名参加

今の日本は、5人に1人が65歳以上の高齢者といわれています。「健康で元気に生活したい！」と思いますが、“介護”はある日突然、あなたの家にやってきます。

“家族に介護が必要になったとき、自分に何ができるのか”と準備する人は意外に少ないものです。本学習会は、家族や友達同士で気軽に話し合える場を目指して開催しました。

今回のテーマは、知っているようで知らない「車いす」で行いました。

平成 24 年 10 月 19 日(土)

場所 群馬医療福祉大学短期大学部 体育館

受講料 無料

時間 13:30~16:00

参加者 9名

対象 一般市民 小・中・高・大学生



東公民館家庭教育学級連携事業 もっと！すくすくおやこスクール 25名参加

子育てについてのコツや困ったときの対処法について学ぶとともに、日ごろ思っていること悩んでいることなどについて情報交換し、親子ともに楽しく健やかな毎日を応援します！みんなで一緒に楽しく子育てしませんか？ 群馬医療福祉大学の先生方が講師として色々なことを実践しました。

期間 平成24年11月29日(木)～1月21日(月)

時間 10時～12時

会場 前橋市 東公民館

参加者 未就園児をもつ保護者とその子

産・学・官による地域連携事業 ふれあい健康まちづくりシンポジウムについて 900名参加

市民一人ひとりの健康寿命の延伸のため、市民の生活習慣の改善と心身共に健康な生活を維持しながら、生きる力を獲得して支え合う地域づくりを目指していく。そして誰もが安心して暮らせるための保健・医療・福祉分野での連携により、市民が創り輝くやさしいまちづくりを推進することを目的とする。

平成25年3月17日(日)

時間 13:30～16:00

場所 藤岡市みかぼみらい館 大ホール

群馬医療福祉大学と前橋工科大学における大学教育研究連携について

群馬医療福祉大学と前橋工科大学の連携を重視し、国民の住みやすい環境づくりや医療・福祉制度の情報共有する機会を設け、お互いの理解を深めることを目的とするものとし、その活動を通じて臨床現場に携わる医療従事者・福祉介護従事者からの意見及び要望を受け連携協力して共同研究開発し、社会へ貢献することを目的としております。

目的達成のために、次の活動を行います。

- 1 大学共同研究連携の協定に伴う検討事項の決議と取りまとめ
- 2 調査・研究・意見交換会の実施
- 3 研究データの共有と機器開発への協力
- 4 官公庁・企業・研究機関との意見交換会の実施
- 5 その他目的を達成するための活動



藤岡市 災害時における支援協力協定

群馬医療福祉大学は災害時における避難者支援に関し、藤岡市と協定を締結しました。藤岡市地域防災計画に基づき、藤岡市が開設する避難所の業務に対して群馬医療福祉大学が支援協力を行うものです。協力の内容は以下のとおりとなっています。

- 1) 避難所における避難者の一般的生活支援
- 2) 避難所に設けられた救護所における医療救護活動の補助
- 3) 福祉避難所における災害時要援護者の介助
- 4) その他、協力要請事項



2. 教務部門報告

- ・ 社会福祉学部の3年次編入学定員を増員 10名 → 40名
- ・ 創造学園大学の破綻により、編入学生受入 4年次編入 3名

3. 入試広報部門報告

- ① 高校訪問
- ② 進学ガイダンス参加
- ③ 高等学校教諭対象説明会
- ④ オープンキャンパス開催
- ⑤ ホームページ
- ⑥ WEB 媒体
- ⑦ 進路情報誌の掲載
- ⑧ 出前授業
- ⑨ 新聞広告(主に上毛新聞)
- ⑩ FM GUNMA

大学(社会福祉学部、看護学部)・短期大学部の募集活動では一定の志願者を確保することができたが、学部により一部定員に達しないところもあった。看護学部では大幅な志願者増、短期大学部では介護福祉士国家試験制度へ移行する学年が経過したことから、志願者減となった。リハビリテーション学部移行の第1期生は、定員を上回る志願者・入学者を確保することができた。大学学部として今後は安定的に推移すると思われる。全入時代を向かえ、経営が難しくなる学校法人がますます増えるだろう。昌賢学園では学校の特色、他校にない魅力を如何に打ち出していけるかが大きな課題である。そのためにも昌賢学園の全教職員が一丸となって、様々な問題に対し企画検討し、それを実行、実現する努力をしていくことが必要であると痛感する。

オープンキャンパス参加者数

	24年度	前年対比	前年度
前橋キャンパス 社会福祉学部 短期大学部	607名	▲54	661名
藤岡キャンパス 看護学部	484名	▲114	598名
リハビリ専門学校	401名	+100	301名
社会福祉専門学校	205名	▲86	291名
合計	1697名	▲154	1851名

看護学部同時開催のため看護学部希望者もカウント

入学者状況（平成25年4月入学者数）

	定員	平成25年4月	前年対比	前年度
大学 社会福祉専攻	80	52名	▲3	55名
大学 子ども専攻	50	45名	▲1	46名
大学 看護学科	80	90名	▲5	95名
大学 理学療法	35	41名	±0	41名
作業療法	25	28名	+1	27名
短大介護福祉学科	80	72名	+16	56名
リハビリ専門学校 理学療法学科	(40)	---	---	---
リハビリ専門学校 作業療法学科	(40)	---	---	---
専門学校 福祉保育学科	50	91名	+3	88名
合計	420名	419名	+11名	407名

4. 就職部門報告

◇学生一人ひとりの希望する先への就職ができるように、『就職指導』を授業として開講し、きめ細かな就職支援・求人資料を豊富にそろえ、実践的なアドバイスも交えるとともに現場での即戦力になるためのサポートを実施しています。

インターンシップとして『ボランティア活動』を取り入れ福祉施設等でのボランティア活動に積極的に取り組むことを進めることで進路・就職に対する動機付け、就職後のミスマッチを防いでいます。

また、学生のキャリア向上及び就職指導の一環として行う支援講座・研修は、変化する社会情勢の中でも十分な就職活動が行えるようバックアップ体制を敷いており、資格取得対策に関しては学生を支援する資格取得講座を数多く開講しています。この資格取得講座の受講者、各種資格試験の合格者は年を重ねる毎に増加しており、公務員（公立保育園を含む）に現役生が合格するとともに、教員採用試験の合格者も数多く出ています。

◇社会福祉学部、短期大学部、群馬社会福祉専門学校、リハビリ専門学校、の就職状況は、就職希望者に対し100%となっています。

（国家試験が残念ながら不合格でも就職させている。）

- ・社会福祉学部社会福祉専攻の就職場所は、老人関係施設39%、障がい者(児)施設24%、病院13%、福祉関連機関団体(社会福祉協議会・社会福祉事業団)6%、教員6%、公務員4%、一般企業4%
- ・社会福祉学部子ども専攻の就職場所は、保育園や幼稚園37%、障がい者(児)施設24%、病院2%、老人福祉施設9%、公務員9%、一般企業4%
- ・群馬社会福祉専門学校の就職場所は、老人関係施設70%、障がい者(児)施設10%、福祉関連機関団体(社会福祉協議会・社会福祉事業団)3%、進学3%

- ・リハビリ専門学校理学療法学科の就職場所は、病院76%、診療所24%
- ・リハビリ専門学校作業療法学科の就職場所は、病院100%、

Ⅲ. 財務の概要

平成24年度施設設備の整備状況

施設整備の主な整備状況

大学	構築物	1,337,550円	樹木植栽他
	教育研究備品	2,307,448円	学生ホールパソコン他
	その他の機器備品	2,888,500円	会議室机・椅子
	図書	6,806,496円	
	車両	3,500,000円	プリウスα
短期大学	教育研究備品	309,445円	学生ホールパソコン他
	その他の機器備品	558,000円	会議室机・椅子
	図書	1,230,048円	
専門学校	建物（附属設備）	1,890,000円	教室空調設備
	教育研究備品	6,363,000円	教室パソコン設備他
	その他の機器備品	538,000円	キャビネット他
	図書	43,516円	
リハビリ専門学校	図書	1,115,415円	
幼稚園	教育研究備品	1,000,000円	剣道道具一式

公認会計士の監査報告書・資金収支の状況（経年推移）・消費収支の状況（経年推移）・貸借対照表（経年推移）・財務比率（経年推移）は別掲の通りである。

平成24年度の財務概要としては看護学部が3年目ではあるが、開設年度より施設設備整備状況は大学全体で全面的に完備されてきたので今年度も新たに大きな経費支出は少額で済み資金の充実を図ることができた。なお、看護学部は入学定員を的確に確保することができ、今後も定員確保の見込みが推測される。さらにリハビリ専門学校1学年は募集停止して新たにリハビリテーション学部として再編されたが入学者は1学年から計画どおりに確保することができ確実な体制でスタートすることができた。

また、主たる経常収入としての学生生徒等納付金比率はリハビリ専門学校5年目、看護学部が3年目となり前年度に引き続き安定的に推移している。経常経費依存率も数年平均的にほぼ90～100%で推移しており、学生生徒に対する教育的還元は行き届いていると思われる。学部増設等が続いたことから繰越消費収支超過額は数年続いていたが看護学部完成年度の前年度となり、繰越消費収入超過額は大幅に改善されてきた。資金的にも外部借入金等は今年度で完済となり健全な財政運営を継続できる傾向である。次年度も財務状況は良好に維持し、大学法人としての教育研究目的を達成するために必要な財政基盤をしっかりと有し、継続的に収支バランスのとれた運営を目指して行く方針である。